

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第3期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	日新製糖株式会社 （旧会社名 日新製糖ホールディングス株式会社）
【英訳名】	Nissin Sugar Co., Ltd. （旧英訳名 Nissin Sugar Holdings Co., Ltd.） （注）平成24年3月26日開催の取締役会の決議により、平成25年4月1日 から会社名を上記のとおり変更いたしました。
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 樋口 洋一
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小網町14番1号
【電話番号】	03（3668）1293
【事務連絡者氏名】	財務部長 森田 裕
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小網町14番1号
【電話番号】	03（3668）1293
【事務連絡者氏名】	財務部長 森田 裕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第2期 第2四半期 連結累計期間	第3期 第2四半期 連結累計期間	第2期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	26,751	25,975	53,050
経常利益 (百万円)	1,571	1,633	2,937
四半期(当期)純利益 (百万円)	837	998	1,692
四半期包括利益または包括利益 (百万円)	848	1,092	1,967
純資産額 (百万円)	43,518	45,287	44,637
総資産額 (百万円)	53,338	54,671	54,884
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	113.76	135.69	229.84
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	81.6	82.8	81.3
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,760	2,267	2,736
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,949	5,860	681
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	489	478	531
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	4,241	3,734	7,806

回次	第2期 第2四半期 連結会計期間	第3期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	43.69	54.86

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、各セグメントに係る主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

(砂糖その他食品事業)

当社は、平成25年4月1日に当社を存続会社とし、連結子会社であった日新製糖株式会社および新光製糖株式会社を消滅会社とする吸収合併方式により合併いたしました。

(その他)

主要な関係会社の異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する金融緩和政策により円安・株高が進行し、個人消費が底堅く推移する中、景気は緩やかに回復しております。反面、来年度からの消費税増税、不安定な雇用情勢等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限）において1ポンド当たり17.70セントで始まりまして、4月に世界最大の生産・輸出国ブラジルにおける降雨による収穫遅れを背景に、今期高値となる18.15セントまで上昇した後、同国の天候回復に加え、タイ・インド等の主要生産国の好調な生産見通しから軟調に転じ、7月には今期安値となる15.93セントまで下落しました。その後は、ブラジル通貨レアルの上昇、同国の天候要因・歩留まりの低下から生産量が下方修正されたことにより上伸し、17.48セントで当第2四半期を終了いたしました。国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、円安の影響もあり、前期末から変わらず上白糖1kg当たり182～183円で当第2四半期を終了いたしました。

このような状況のもと、砂糖その他食品事業においては、当社独自のきび砂糖や梅酒向けの氷砂糖は好調に推移いたしました。家庭用製品全体の販売減少に歯止めがかからず、砂糖合計の出荷量は前年を下回りました。また、エネルギーコストの上昇が大きな負担増となりましたが、本年4月の合併に伴い原材料調達コストおよび経費の削減に取り組みしました。その結果、売上高は24,273百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は1,322百万円（同2.3%減）となりました。

その他の事業においては、ドゥ・スポーツプラザを運営する健康産業事業は、若年顧客の減少傾向と価格競争の激化など、厳しい状況が続いておりますが、会員定着を重視した諸施策の実施により、増収増益を確保いたしました。冷蔵倉庫事業および港湾運送事業は、不採算部門の見直しにより取扱高は減少いたしました。コスト削減と普通倉庫の稼働率向上により増益となりました。その結果、売上高は1,702百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は188百万円（同36.0%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,975百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は1,511百万円（同1.2%増）、経常利益は1,633百万円（同4.0%増）となり、四半期純利益は998百万円（同19.3%増）となりました。

#### (2)資産、負債および純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は25,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円減少いたしました。これは主に有価証券（譲渡性預金等）が3,699百万円増加、現金及び預金が2,172百万円、受取手形及び売掛金が1,157百万円減少したことによるものであります。固定資産は29,089百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が273百万円減少、投資その他の資産が223百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、54,671百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円減少いたしました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は6,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ792百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が618百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少いたしました。これは主に引当金が61百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、9,383百万円となり、前連結会計年度末に比べ863百万円減少いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は45,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ650百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益998百万円および剰余金の配当441百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は82.8%（前連結会計年度末比1.5ポイント増）となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より4,072百万円減少し、3,734百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,267百万円となりました。

主なものは、税金等調整前四半期純利益1,625百万円、売上債権の減少1,157百万円、仕入債務の減少617百万円であります。

なお、前年同期に比べ507百万円の増加となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増加255百万円、非資金損益項目である減価償却費の減少67百万円および減損損失の減少187百万円、法人税等の純支払額の減少233百万円、ならびに売上債権、たな卸資産、仕入債務、その他流動資産およびその他流動負債の増減424百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,860百万円の支出となりました。

主なものは、余資の運用である有価証券の純増加額5,800百万円であります。

なお、前年同期は1,949百万円の支出であり、主なものは、余資の運用である有価証券の純増加額2,100百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、478百万円の支出となりました。

主なものは、配当金の支払額442百万円であります。

なお、前年同期は489百万円の支出であり、主なものは、配当金の支払額442百万円であります。

### (4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、37百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,557,961	7,557,961	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	7,557,961	7,557,961		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		7,557,961		7,000		1,750

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
住友商事株式会社	東京都中央区晴海1-8-11	27,654	36.59
CGML-IPB CUSTOMER COLLATERAL ACCOUNT (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	CITIGROUP CENTRE, CANADA SQUARE, CANARY WHARF, LONDON E14 5LB (東京都品川区東品川2-3-14)	3,096	4.10
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	2,465	3.26
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1-4-1	2,000	2.65
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	1,855	2.45
ブルドックソース株式会社	東京都中央区日本橋兜町11-5	1,332	1.76
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	388 GREENWICH STREET, NY, NY 10013, USA (東京都品川区東品川2-3-14)	1,275	1.69
むさし証券株式会社	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-333-13	1,021	1.35
平野 孝憲	愛知県名古屋市	857	1.14
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命 証券管理部内	678	0.90
計	-	42,235	55.88

(注) 1. 当社は、自己株式を1,966百株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数は、全て投資信託設定分に係る株式であります。

3. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から、平成25年8月7日付の大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、平成25年7月31日現在で4,732百株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社の大量保有報告書(変更報告書)の写しの内容は以下のとおりであります。

大量保有者	シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
住所	東京都千代田区丸の内1-5-1
保有株券等の数	株式 473,200株
株券等保有割合	6.26%

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 196,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,310,600	73,106	
単元未満株式	普通株式 50,761		
発行済株式総数	7,557,961		
総株主の議決権		73,106	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式56株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
日新製糖株式会社	東京都中央区 日本橋小網町14-1	196,600		196,600	2.60
計		196,600		196,600	2.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,306	1,134
受取手形及び売掛金	4,882	3,725
有価証券	10,311	14,011
商品及び製品	3,762	3,704
仕掛品	417	375
原材料及び貯蔵品	2,294	2,169
その他	747	463
貸倒引当金	1	1
流動資産合計	25,722	25,582
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,526	8,526
その他(純額)	5,068	4,795
有形固定資産合計	13,595	13,321
無形固定資産		
	294	270
投資その他の資産		
投資有価証券	13,710	13,956
その他	1,659	1,637
貸倒引当金	97	97
投資その他の資産合計	15,273	15,496
固定資産合計	29,162	29,089
資産合計	54,884	54,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,533	2,914
短期借入金	1,100	1,100
未払法人税等	336	604
引当金	369	363
その他	1,874	1,439
流動負債合計	7,214	6,421
固定負債		
引当金	787	725
その他	2,245	2,236
固定負債合計	3,032	2,962
負債合計	10,247	9,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	12,020	12,020
利益剰余金	23,733	24,290
自己株式	293	293
株主資本合計	42,461	43,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334	446
繰延ヘッジ損益	18	0
土地再評価差額金	1,823	1,823
その他の包括利益累計額合計	2,176	2,269
純資産合計	44,637	45,287
負債純資産合計	54,884	54,671

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	26,751	25,975
売上原価	21,672	21,130
売上総利益	5,079	4,845
販売費及び一般管理費	3,585	3,334
営業利益	1,493	1,511
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	24	29
持分法による投資利益	48	84
その他	16	17
営業外収益合計	99	139
営業外費用		
支払利息	6	7
支払手数料	4	4
その他	9	4
営業外費用合計	21	16
経常利益	1,571	1,633
特別利益		
固定資産売却益	6	-
特別利益合計	6	-
特別損失		
固定資産除却損	7	4
減損損失	187	-
投資有価証券売却損	-	3
投資有価証券評価損	11	-
ゴルフ会員権評価損	2	-
特別損失合計	208	8
税金等調整前四半期純利益	1,370	1,625
法人税等	532	626
少数株主損益調整前四半期純利益	837	998
四半期純利益	837	998

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	837	998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	112
繰延ヘッジ損益	23	17
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	11	93
四半期包括利益	848	1,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	848	1,092

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,370	1,625
減価償却費	476	408
固定資産除却損	7	4
減損損失	187	-
投資有価証券評価損益(は益)	11	-
ゴルフ会員権評価損	2	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	4	0
賞与引当金の増減額(は減少)	26	5
退職給付引当金の増減額(は減少)	7	57
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	24	3
受取利息及び受取配当金	34	37
支払利息	6	7
持分法による投資損益(は益)	48	84
売上債権の増減額(は増加)	437	1,157
たな卸資産の増減額(は増加)	295	213
仕入債務の増減額(は減少)	650	617
その他の流動資産の増減額(は増加)	17	117
その他の流動負債の増減額(は減少)	563	233
その他の固定負債の増減額(は減少)	12	22
その他	11	1
小計	2,169	2,470
利息及び配当金の受取額	84	57
利息の支払額	6	7
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	486	253
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,760	2,267
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	200	200
有価証券の純増減額(は増加)	2,100	5,800
有形固定資産の取得による支出	63	163
資産除去債務の履行による支出	-	43
無形固定資産の取得による支出	50	50
その他	63	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,949	5,860
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	47	36
配当金の支払額	442	442
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	489	478
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	679	4,072
現金及び現金同等物の期首残高	5,411	7,806
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	491	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,241	3,734

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社であった日新製糖株式会社および新光製糖株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併方式により、上記2社は消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

次の関係会社等について、金融機関からの借入等に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
新東日本製糖㈱(借入債務)(注)	792百万円	新東日本製糖㈱(借入債務)(注)	691百万円
日新サービス㈱(仕入債務)	72	日新サービス㈱(仕入債務)	38
その他(借入債務および仕入債務)	2	その他(借入債務および仕入債務)	1
計	867	計	731

(注)当社保証額であります(前連結会計年度 総額1,585百万円、当第2四半期連結会計期間 総額1,382百万円)。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
製品保管料および製品運賃	1,090百万円	1,069百万円
賞与引当金繰入額	224	223

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,941百万円	1,134百万円
有価証券勘定に含まれる取得日から3か月以内に満期日の到来する譲渡性預金	2,300	2,600
現金及び現金同等物	4,241	3,734

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	441	60	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	441	60	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	砂糖その他 食品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,007	1,743	26,751		26,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	1	63	63	
計	25,069	1,744	26,814	63	26,751
セグメント利益	1,352	138	1,491	2	1,493

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康産業事業、冷蔵倉庫事業、港湾運送事業および不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額2百万円には、受取経営管理料276百万円、全社費用273百万円が含まれております。受取経営管理料は、砂糖その他食品事業の日新製糖株式会社および新光製糖株式会社が支払っており、全社費用は、主に当社の管理部門に係る経費ならびに役員報酬等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、一部設備の除却を決定したことから固定資産の減損処理を行っております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては187百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	砂糖その他 食品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,273	1,702	25,975		25,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	1	1	
計	24,273	1,703	25,977	1	25,975
セグメント利益	1,322	188	1,511	-	1,511

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康産業事業、冷蔵倉庫事業、港湾運送事業および不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	113円76銭	135円69銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	837	998
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	837	998
普通株式の期中平均株式数(百株)	73,618	73,613

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

日新製糖株式会社

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田村 保広	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	武内 清信	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	林 一樹	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日新製糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日新製糖株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。